

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第53期 一般幹部候補生課程の卒業式が挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

この輝かしい歴史と伝統を誇る、海上自衛隊幹部候補生学校を巣立って行かれる、第53期卒業生の皆様、そして御臨席の御家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。

今日まで御指導を尽くされました 大判 学校長を始め、教官の方々並びに職員の皆様方に対して、深甚なる敬意を表します。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境に目を向けますと、昨年12月に、海上自衛隊の中東への派遣が閣議決定され、現在、すでにP3C哨戒機が情報収集活動を行うとともに、2月2日には、護衛艦「たかなみ」が中東海域、アデン湾に向けて、横須賀基地を出港し、今月下旬にも任務を開始するとの報道がございました。

また、中東のみならず、依然、北朝鮮の動向など、我が国を取り巻く情勢は、予断を許さない状況にあり、国内に目を向けますと、大規模な自然災害が毎年のように多発しております。

こうした中、海上自衛隊の皆様が国益や平和の維持、災害対応など国民の生命、財産を守るため、日々献身されている姿は、私たち日本国民の誇りであります。

本日御卒業される皆様におかれましては、江田島で過ごしたこの8か月間は、きっと忘れられないものになったのではないのでしょうか。是非、ここ江田島で培った「強い使命感」と、御卒業される同期との「チームワーク」を大切にいただき、海上自衛隊がワンチームとなって、これからも国民の負託に応えていただきたいと願っております。

さて、御存知のとおり、ここ江田島は、明治21年に旧海軍兵学校が東京築地から移転し、その後、昭和31年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至るまで、共存共栄、一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との「縁」や「絆」を大切にしてきた地でございます。

そして、昨年12月には、ここ江田島が名前の由来となった掃海艦「えたじま」が誕生しました。令和3年、2021年3月から運用されるとのことなので、皆様の中には、もしかしたら乗船される方がおられるかもしれません。その時は、江田島で過ごした日々を思い出していただければと思います。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして御卒業される皆様並びに御家族の皆様の、御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

本日は、誠にありがとうございます。

令和2年2月4日

江田島市長 あき おか しゅう さく
明 岳 周 作